

株主・投資家の皆様へ

# 第26期 株主通信

2010年4月1日から2011年3月31日まで



**Your Global IT Partner.**

あなたの、グローバルITパートナーを目指して。

## 経営の基本理念

Management Philosophy

お客様の満足が大きさが我々の存在価値の大きさであり、ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。

### 1 お客様企業への コミットメント

- 常に世の中の技術動向を把握し、人と技術の融合により付加価値と品質の高いサービスを継続的に提供する。
- お客様に信頼される真のパートナーシップを構築する。

### 2 社員への コミットメント

- 社員は無限の可能性を秘めた最大の資産であり、個人の成長に必要な教育支援を惜しまない。
- 機会は公平に与え、実績と能力によって適正な報酬と新たな成長の機会を提供する。

### 3 社会・株主への コミットメント

- グループの成長により株主価値を高めるとともに、社会の進歩に貢献する。

trans  
cosmos  
people & technology

トランスコスモス株式会社

<証券コード：9715>

## 連結財務諸表（要旨）

### Consolidated Financial Statements

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度末 2011年3月31日現在	前連結会計年度末 2010年3月31日現在
<b>■資産の部</b>		
流動資産	61,102	58,715
固定資産	29,031	32,921
有形固定資産	7,661	9,106
無形固定資産	1,891	4,674
投資その他の資産	19,479	19,140
資産合計	90,134	91,637
<b>■負債の部</b>		
流動負債	32,105	28,021
固定負債	13,618	22,190
負債合計	45,723	50,212
<b>■純資産の部</b>		
株主資本	43,943	39,912
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,511
利益剰余金	10,289	6,257
自己株式	△ 15,922	△ 15,921
その他の包括利益累計額	△ 2,902	△ 1,949
少数株主持分	3,369	3,462
純資産合計	44,410	41,425
負債・純資産合計	90,134	91,637

#### 連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	前連結会計年度 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	151,687	151,589
売上原価	123,799	123,238
売上総利益	27,887	28,350
販売費及び一般管理費	21,588	23,902
営業利益	6,299	4,448
営業外収益	1,042	1,167
営業外費用	830	1,076
経常利益	6,512	4,539
特別利益	2,300	5,282
特別損失	3,129	8,043
税金等調整前当期純利益	5,683	1,778
法人税等合計	1,165	338
少数株主損益調整前当期純利益	4,518	—
少数株主利益又は少数株主損失(△)	48	△ 695
当期純利益	4,469	2,135

#### 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	前連結会計年度 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	8,875	8,225
投資活動による キャッシュ・フロー	512	4,052
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 5,523	1,058
現金及び現金同等物の期末残高	31,215	27,622

#### ●売上高

当社グループの主力の単体サービスにおいて上半期での受注低迷の影響があったものの、下半期からは回復基調となり、また中国・韓国での受注が拡大し海外事業が大きく成長しました。その結果、連結売上高は、前期比で0.1%の増収となりました。

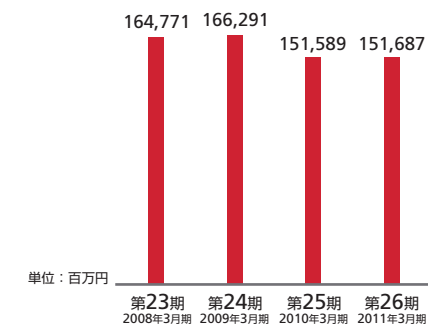
#### ●営業利益

前期に実施したグループ会社の整理・統合の効果に加え、単体サービスにおける未稼働人員の解消や、国内子会社の業績回復と海外事業が成長軌道に乗ったこともあって収益性は大きく改善し、前期比で41.6%の増益となりました。

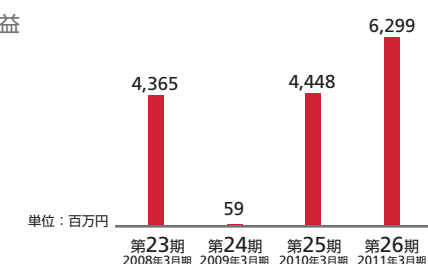
#### ●当期純利益

営業利益、経常利益の改善に加え、投資有価証券売却益を計上したことにより、連結当期純利益は、前期比で109.3%の増益となりました。

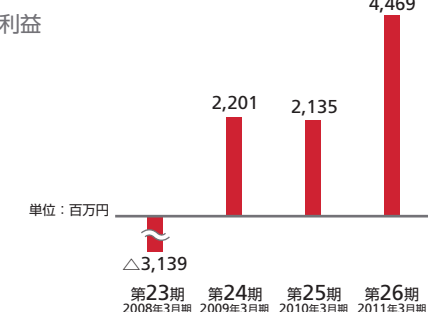
#### 売上高



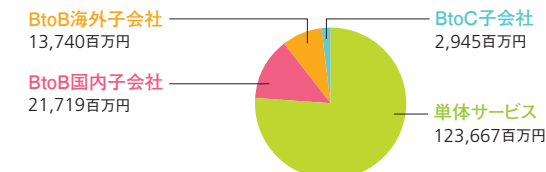
#### 営業利益



#### 当期純利益



#### ■セグメント別売上高



※注意：セグメント間取引消去等10,384百万円は含まず

- 単体サービス▶国内で法人向けビジネスを展開するトランスコスモス本体事業。コールセンターサービスをはじめワンストップのアウトソーシングサービスを提供
- BtoB国内子会社▶国内で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業
- BtoB海外子会社▶海外で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業
- BtoC子会社▶国内の消費者向けインターネットメディアビジネスを展開するグループ会社事業

## TOPメッセージ

To Our Stakeholders

このたびの東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

### 2011年3月期の振り返り

当連結会計年度における当社グループが展開する情報サービス業界の環境は、企業のIT設備投資への慎重な姿勢が続きましたが、高い経済成長を続ける中国を中心としたアジア市場に進出し、好調な外需を取り込むことで業績回復、成長加速を図ろうとする動きが活発化しました。当社グループでは、こうした企業活動を取り巻く環境変化を捉え、グローバル戦略を積極的に推進いたしました。また、国内市場での競争力を高めるため、引き続き付加価値の高いサービスの創造と提供に努めました。

#### グローバル戦略の推進

グローバル事業への取り組みとしましては、急速に拡大している中国EC市場において、EC事業展開を目指す企業向けにチャット／コールセンター、Webサイト構築・運用、インターネットプロモーションをトータルで提供する「中国ECサポートサービス」を開始いたしました。また、中国市場のコールセンターやインターネットに寄せられる“顧客の声”の収集・分析・活用をサポートする「中国語VOC分析デスクサービス」の提供も開始しております。

#### 高付加価値サービスの創造と提供

コールセンターサービスはセンター型サービスを、デジタルマーケティングサービスはオンサイト＋センター

型サービスを、ビジネスプロセスアウトソーシングサービスはセンター＋オフショア型サービスを、それぞれ拡充し、高付加価値サービスを提供する体制を強化しております。新たなサービス創出への取り組みとしましては、SaaS型CRMシステムを活用した在宅オペレーターによる業務検証を開始いたしました。

収益面につきましては、前期に実施したグループ会社の整理・統合の効果に加え、単体サービスにおける未稼働人員の解消や、国内子会社の業績回復と海外事業が成長軌道に乗ったこともあって収益性は大きく改善いたしました。

なお、東日本大震災により当社グループの仙台拠点が一時的に業務停止しましたが、早期に業務を再開しております。

### 2012年3月期の取り組みについて

わが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災の影響により先行き不透明な状況が続くことが予測されますが、お客様企業の業務を請け負う当社グループでは、BCP（緊急時事業継続計画）の精度を高め、事業継続対策を強化し、お客様企業活動の動向を見極めながら、売上拡大・コスト削減といったニーズに、より適合したサービスの創出に注力してまいります。また、中国をはじめとしたアジア市場での営業を強化し、成長領域における事業基盤の強化に努めてまいります。

しかしながら、東日本大震災に伴う被害や電力不足が今後の企業活動の動向に与える影響の見極めが困難な状況

となっており、これらが当社の連結業績に与える影響を現時点では合理的に算定できないため、2012年3月期の連結業績見通しについては、現段階では未定としております。今後、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

### 株主・投資家の皆様へ

2011年3月期の配当金につきましては、期初の予定では10円としておりましたが、当初の予想を上回る利益を計上することとなりましたので、当社の利益配分に関する基本方針に基づき当期期末配当を1株当たり33円とすることを第26回定時株主総会でご承認いただきました。

2012年3月期の配当につきましては、現段階では業績予想が困難であるため、未定としております。今後、予想が可能になった段階で速やかに発表いたします。

引き続き、株主・投資家の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。



2011年6月

代表取締役社長兼COO

奥田昌孝

**「中国ECサポートサービス」を提供開始**

中国でのEC事業展開を目指す企業向けに、チャット／コールセンター、Webサイト構築・運用、インターネットプロモーションをトータルで提供する「中国ECサポートサービス」を開始。

**サービス産業生産性協議会とパートナー契約を締結**

サービス産業生産性協議会とパートナー契約を締結。同協議会が開発した顧客満足度の業界横断指標『JCSI（日本版顧客満足度指数：Japanese Customer Satisfaction Index）』の販売を、2010年12月8日より開始。

**BPO事業強化の一環として、中国2拠点を新設、拡大**

BPO事業の強化のため、中国蘇州に新たなBPO拠点として、大宇宙商業服務（蘇州）有限公司を設立。また、大連の大宇宙設計開発（大連）有限公司においてはサービス・人員を拡充。



**グリー株式会社と多端末検証業務で提携**

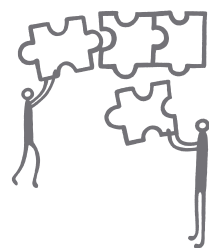
グリー株式会社と、ソーシャルアプリの多端末検証業務で提携。グリー株式会社の開発パートナー様向けに、ソーシャルアプリ開発時の端末検証業務を提供。

2010

10月

**BPO拠点「BPO熊本テクニカルセンター」を拡大**

BPO業務の拡大に伴い2010年10月にセンターを増設し、2011年1月より新たな業務を開始。



11月

**クラウドサービスと連携したクラウド専用iPadアプリ開発サービスを開始**

iPhone/iPadアプリ開発サービスの一環として、クラウド上のコンテンツやドキュメントを、iPadでの表示を可能にしたiPad専用アプリを開発。本アプリは営業現場での活用を想定しており、2010年12月9日より、企業向けに営業業務支援アプリ開発サービスを開始。



12月

2011

1月

**在宅型コールセンターサービスの実証実験を開始**

テレワーク方式の業務のひとつとして在宅型コールセンターサービスの提供を目指し、SaaS型CRMシステムを活用した、在宅オペレーターによるコールセンター業務の検証を開始。



2月

**2年連続で「グローバルアウトソーシング100」に選出**

国際アウトソーシング専門家協会(IAOP) が発表した「2011年グローバルアウトソーシング100 (Global Outsourcing 100)」に選出。2010年に続き、2年連続の選出。



## 中国市場の消費者の声を「見える化」する「中国語VOC分析デスクサービス」を開始

中国市場のコールセンターやインターネットに寄せられる“顧客の声”（VOC）の収集・分析・活用をサポートする「中国語VOC分析デスクサービス」を開始。家電や化粧品など、主に日系メーカーの日本本社と現地法人向けに提供し、2011年度は、10社への導入を目指す。

## 沖縄県の「コールセンターエントリー人材育成事業」業務を受託

グループ子会社のトランスコスモス シー・アール・エム沖縄株式会社は、沖縄県が実施する人材育成事業である「コールセンターエントリー人材育成事業」を受託。約3,000名の雇用実績と世界3位の研修制度で、沖縄県の雇用創出・人材育成に貢献。

3月

## 東北地方太平洋沖地震の被災地・被災者支援として、災害時に必要な情報のモバイル伝達サービスを無償提供

情報インフラの分断により、現在も災害関連情報の伝達が困難な状況が続いている被災地域の自治体、教育機関および被災地で支援活動を行う団体に対し、モバイルによる情報伝達支援として、統合型モバイルマーケティングツール『MobileMK』を無償提供。



## よき企業市民として～CSR活動の取り組み～

責任ある企業活動を行い、経済・社会の発展に貢献していくこと。つまり企業の社会的責任（CSR）を果たすことは、当社のステークホルダーの皆様へ信頼され、お客様にとって価値あるビジネスを継続していくうえで不可欠だと考えています。ここでは、その信念の下に当社が展開している当社の社会貢献活動の一部をご紹介します。

### 社会貢献活動

#### 雇用創出を通じて地域社会への活性化・発展に貢献

- 2010年8月には、「MCMセンター宮崎駅前」を業務拡大に伴い増設し、それに伴い2012年までに200名を新たに雇用することを計画しています。
- 2010年9月には、沖縄県では7拠点目となる「BPO沖縄テクニカルセンター」を新設しました。
- 2010年10月には、「BPO熊本テクニカルセンター」を業務拡大に伴い増設し、2011年1月より新たな業務を開始しました。

#### 当社特例子会社のトランスコスモス・アシスト社員が、全国アビリンピックで銅賞に入賞

当社特例子会社の株式会社トランスコスモス・アシスト社員の大橋光太（おおはしこうた）が、2010年10月15日～17日に神奈川県で開催された全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）で、パソコンデータ入力の種類において、見事「銅賞（第3位）」に入賞しました。

また、上記大会で優秀な成績を収めた東京都代表者に贈られる「東京都知事賞」も併せて受賞しました。

大橋は、当社で、各種データ入力やファイリング業務などを主に対応しています。当社は他にも、同社の社員が、得意分野を活かし、生き活きと持続的に働ける職場環境を準備し、全ての社員が共に働き、業務に貢献出来る人材育成を行っております。



### 環境活動

#### 環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証取得

2011年3月、環境リスクの低減および環境への貢献と、経営との両立を目指す環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得しました。

地球環境保全のはたらきが世界的に広まる中、企業および組織における環境リスクの低減努力や環境への貢献活動の重要性が増しています。「ISO14001」では環境関連法規制の順守のほか、事業活動によって生じる環境への影響を持続的に改善するためのシステムを構築し、そのシステムを継続的に改善していくことで環境負荷の低減および環境への貢献が要求されています。環境マネジメントシステムを積極的に取り入れ、環境と経営の両立を目指す取り組みは、持続可能な発展を求める組織の価値を高めるものとして幅広いステークホルダー（利害関係者）から期待されています。

当社では、企業の社会的責任およびお客様企業からのグリーン調達要請に適応するため、環境省の策定した認証・登録制度である「エコアクション21」を、2006年5月に本社、大阪本部において取得し環境活動に取り組んできました。そして現在トランスコスモスが展開している、アジアを中心とした海外事業規模、形態、および今後さらにグローバルに展開していくための取り組みのひとつとして、国際規格である「ISO14001」の認証取得を行いました。

#### ■ISO14001の取得内容

略称・通商▶ISO14001  
認証基準▶ISO14001:2004/JIS Q 14001:2004  
登録番号▶JQA-EM6671  
登録事業者▶トランスコスモス株式会社  
登録日▶2011年3月11日  
有効期限▶2014年3月10日  
審査登録機関▶財団法人 日本品質保証機構（JQA）  
登録活動拠点▶本社、大阪本部

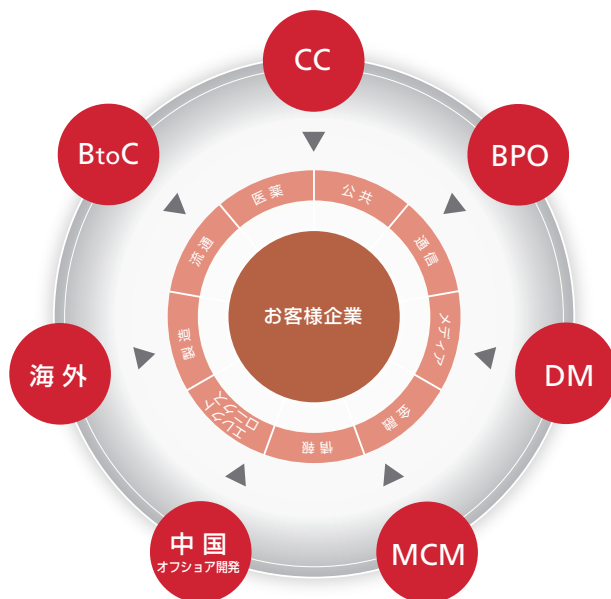


JQA-EM6671  
本社・大阪本部

当社は上記以外にも様々なCSR活動に取り組んでいます。

詳細は、当社「トランスコスモスの社会的責任（CSR）」ページに掲載していますのでご参照ください。

URL▶▶▶<http://www.trans-cosmos.co.jp/company/csr.html>



CC CallCenter Services

コールセンターサービス

コールセンターでは、企業が提供する商品・サービスについて、お客様からのお問い合わせや苦情などに対して専門的に対応を行います。一般的にカスタマーセンター、サポートセンターなどと呼ばれるものです。従来、電話での対応が中心でしたが、通信・メディア技術の進歩により、電話・FAX・メール・Web・モバイルなどお客様とのコミュニケーション手段のマルチチャネル化とともに、コールセンターの仕組みも複雑かつ高度化しています。当社は、このコールセンター業務を企業から委託を受けて代行するアウトソーシングサービスを提供しています。また申込書や伝票などの帳票の回収・入力・発行といったフルフィルメント業務のサービスも提供しています。

BPO Business Process Outsourcing Services

ビジネスプロセスアウトソーシングサービス

ビジネスプロセスアウトソーシングサービスは、お客様企業のIT部門、業務部門、設計部門の業務を支援するサービスです。IT基盤の導入・開発・運用・保守などIT業務を支援する「ITアウトソーシング」、製品の受発注や総務・人事・経理といったコーポレート業務・バックオフィス業務を支援する「業務プロセスアウトソーシング」、機械・建築設計やCADシステムの開発・運用・保守など設計業務を支援する「エンジニアリングソリューション」の3つのサービスを柱に、コスト削減と業務効率を高めるアウトソーシングサービスを提供しています。

DM Digital Marketing Services

デジタルマーケティングサービス

インターネットをベースとした企業のマーケティング活動を支援するサービスを提供しています。検索連動型広告をはじめ、バナー広告、アフィリエイトなどWebプロモーションのプランニングから実行・運用・効果分析までを行う「インターネット広告」、企業のWebサイトのプランニングから構築・運用までを行う「Webインテグレーション」の2つのサービスを中心に提供しています。

MCM The Marketing Chain Management Solution Services

マーケティングチェーンマネジメントソリューションサービス

本事業は、新事業として2010年4月よりスタートしました。2010年3月に吸収合併した子会社ダブルクリックが有するテクノロジーソリューションビジネスを引き継ぎ、当社がアウトソーシング事業において培ってきた「運用力」と融合させ、総合ソリューション事業として企業のマーケティング活動全体の効率化・最適化・自動化を支援しています。

中国 Offshore System Developing Services

中国オフショア開発サービス

オフショア開発とは、国内のソフトウェアや各種システムの開発・運用を海外の事業者へ委託することです。当社は、中国を拠点にオフショア開発サービスを提供しています。このサービスの最大のメリットは、大幅な原価削減が期待できる点です。中国の拠点を通じて、システム開発、施設・人員・インフラなど様々な面がかかるコストの大幅削減を実現しつつ、日本国内と同等の品質と技術を提供しています。

海外 Global Services

グローバルサービス

日本国内で展開している多彩なサービスを、海外でも国内同等の品質と技術で提供しています。中国、韓国などアジアを中心に、日本法人の海外進出を支援するオンショア(現地法人向け)、コスト競争力の強化に繋がるオフショア(日本国内法人向け)で、コールセンターサービス、ビジネスプロセスアウトソーシングサービス、デジタルマーケティングサービスを提供しています。

BtoC Business to Consumer

BtoC事業

一般消費者を対象としたインターネットメディアの企画・開発・運営を行っています。インターネット上の3Dバーチャルコミュニティ(メタバース)として、リアルな東京を再現する「meet-me」は、次世代メディアとして注目度の高いメディアです。その他、月間1億PVを誇るニュースサイト「ZA!」、動画を中心としたコミュニケーションサイト「ワッチミー!TV」なども展開しています。

CC コールセンターサービス導入事例

SAPジャパン株式会社様

当社は、ソフトウェア大手のSAPジャパン株式会社様のインサイドセールス部門におけるテレマーケティング業務のサポートを受託しています。企業に電話でコンタクトをし、見込み顧客をインサイドセールス部門にお渡しするのが当社の役割です。長年のテレコミュニケーションスキルの蓄積、スタッフのトレーニング、SAPジャパン株式会社様との密な情報連携などに努めた結果、新規営業案件発掘件数が154%にUPしました。

課題 営業リソースを最適化し売上拡大を図る

導入サービス セールスサポートサービス

- 成果
- ①新規営業案件発掘件数が154%にUP
  - ②発足当初より市場カバレッジが200%にUP
  - ③業務改善プロジェクトにより見込顧客獲得単価などの削減に成功

BPO ビジネスプロセスアウトソーシングサービス導入事例

株式会社ジャムコ様

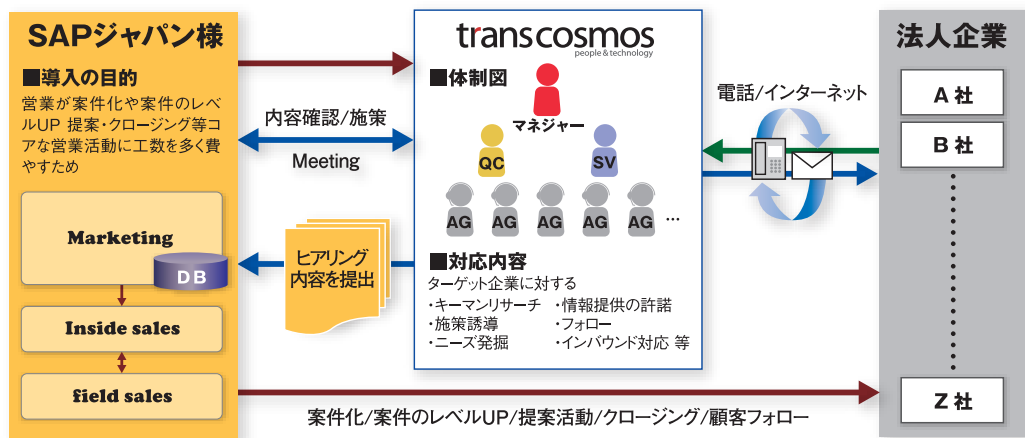
当社は、世界の航空機メーカーを支える株式会社ジャムコ様において、設計業務効率化プロジェクトを受託しました。設計業務を熟知したエンジニア率の高い「業務改善チーム」が既存の設計プロセスを見直し、開発経験豊富な「ITチーム」が効率化に必要な自動化ツールを構築し、完成したツールを「設計チーム」が実運用に取り入れることにより、設計工数の大幅削減を実現しました。

課題 設計業務の効率化

導入サービス 機械設計支援サービス

- 成果
- ①設計DBを再構築し、検索・読込・確認工数を21%削減
  - ②設計DBの自動検索ツールを構築し、検索工数を38.5%削減
  - ③証明書作成プロセス整備と自動化ツール構築により、証明書調査・作成工数を48.4%削減

■ご提供サービス



SAPジャパン株式会社様からのコメント

トランスコスモスさんの存在がなければこのモデルは成立しませんでした。

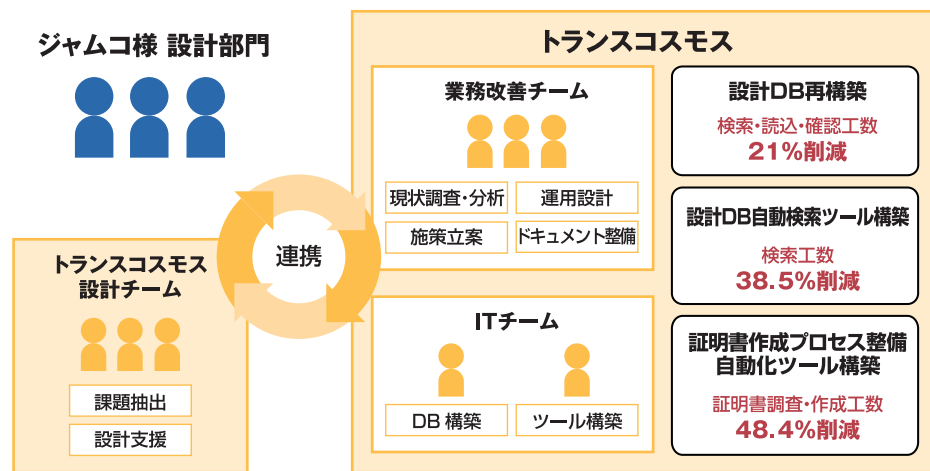
トランスコスモスさんには、インサイドセールス部の発足当初より、非常に重要な役割を担っていただいています。トランスコスモスさんの存在がなければ、このビジネスモデルは成立しなかったと言っても過言ではありません。

テレコミュニケーションのプロとしてのクオリティや経験値の高さのもとより、分析力、人員配置、スタッフのトレーニングといった点でも、非常に高い水準のサービスをご提供いただいています。また、自主的に改善ポイントを検討し、修正していただいているのも、心強い限りです。このようなビジネスプロセスを他社と協業で行うことは、一般にセキュリティなどの面でリスクがあるものですが、データ管理の徹底化などによって、リスクを最小限にとどめることに成功しています。

今後も、案件成約率の向上やプロセスの短縮化など、このモデルをより進化させるべく、両者の努力軸を明確にし、ゴールとモチベーションを共有しながら、より緻密な戦略的協業を実現していきたいと考えています。

SAPジャパン株式会社 営業企画本部 本部長 金田 博之 様

■ご提供サービス



株式会社ジャムコ様からのコメント

業務効率化の効果が出るまでのスピードが、トランスコスモスさんの場合は全く違います。

一般的なコンサルティング会社の場合は実運用を伴わない業務改善提案が多く、さらには、具体的な改善施策を誰が実行するのが新たな課題となっていました。

これに対してトランスコスモスさんの場合は、実運用にあたっているエンジニアが現実的な業務改善提案を行い、自動化ツールの構築、設計現場でのツールの導入・定着に至るまで一貫して対応してもらえますので、非常に高く評価しています。特に自動化ツールは、業務改善を進めながら並行して構築いただけるため、スピーディーに設計現場に導入することができます。ツールを使い始めたその瞬間から目に見えて効率化が始まりますので、私どもとしては削減された工数以上の効果を実感しています。

また、予め決定してあるスケジュール通りの対応ではなく、設計現場の状況に応じて柔軟に対応いただけるのも大変助かっています。手作業ではとても納期に間に合わない突発的な帳票作成業務が発生したことがあったのですが、急遽3日間で自動化ツールを構築いただいたおかげで、何とか納期に間に合ったことが印象に残っています。今後もトランスコスモスさんの協力の下、他の設計・生産部門にも業務効率化を適用し、さらなる効率化を実現していきたいと考えています。

株式会社ジャムコ 航空機内装品カンパニー 内装品工場 787開発室 課長代理 上田 禎之 様

## 会社概要 (2011年3月31日現在)

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	トランス・コスモス株式会社(transcosmos inc.)
設立年月日	1985年6月18日(登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	本体:8,494名 グループ:15,052名
主要取引銀行	三井住友銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行

## 役員構成 (2011年6月28日現在)

代表取締役グループCEOファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
専務取締役	石見 浩一
上席常務取締役	向井 宏之 森山 雅勝 永倉 辰一
社外取締役	夏野 剛 瀧浪 壽太郎 吉田 望
常勤監査役	石岡 英明
監査役	高尾 吉郎 渡邊 和志 中村 敏明
常務執行役員	下總 邦雄 貝塚 洋 牟田 正明 中山 国慶 河野 洋一 高野 雅年 本田 仁志
執行役員	野々村 正仁 多田 真之 早見 泰弘 山喜 和彦 梅村 和広 清水 一洋

## 株式の状況 (2011年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	24,838名

## 大株主の状況 (2011年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
奥田 耕己	7,498	15.37
奥田 昌孝	5,910	12.11
平井 美穂子	2,185	4.48
財団法人奥田育英会	1,753	3.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,571	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	734	1.51
トランス・コスモス社員持株会	528	1.08
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	440	0.90
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	411	0.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	288	0.59

(注) 1. 上記の他、当社が自己株式 7,648千株を保有しています。  
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。  
3. 持株比率は、小数第三位を四捨五入により表示しています。

## トランスコスモス 株主優待制度のご案内

当社は日頃ご支援いただいている株主様への感謝として、期末日(3月31日)に当社株式を1,000株以上お持ちの株主の皆様へ「株主優待ポイント」として1,000ポイントを贈呈しております。「株主優待ポイント」は、当社の事業拠点がある各地の特産品と交換が可能になります。ぜひ、厳選された「こだわりの味」をご堪能ください。

### ●2011年度 株主優待品例

人気No.1:紀州南高梅甘口はちみつ梅干



### ●対象

3月31日に当社株式を1,000株以上保有されている株主の皆様  
詳細は、毎年6月上旬にお送りする「株主優待カタログ」をご確認ください。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 (中間配当金 毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都府中市日鋼町1番10 183-8701 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417 (平日9時~17時)
(インターネット)(ホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 <a href="http://www.trans-cosmos.co.jp">http://www.trans-cosmos.co.jp</a> ※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっています。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(住友信託銀行)にお問い合わせください。なお、住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 支払開始日から満3年未満の未受領の配当金につきましては、住友信託銀行本支店でお支払いいたします。